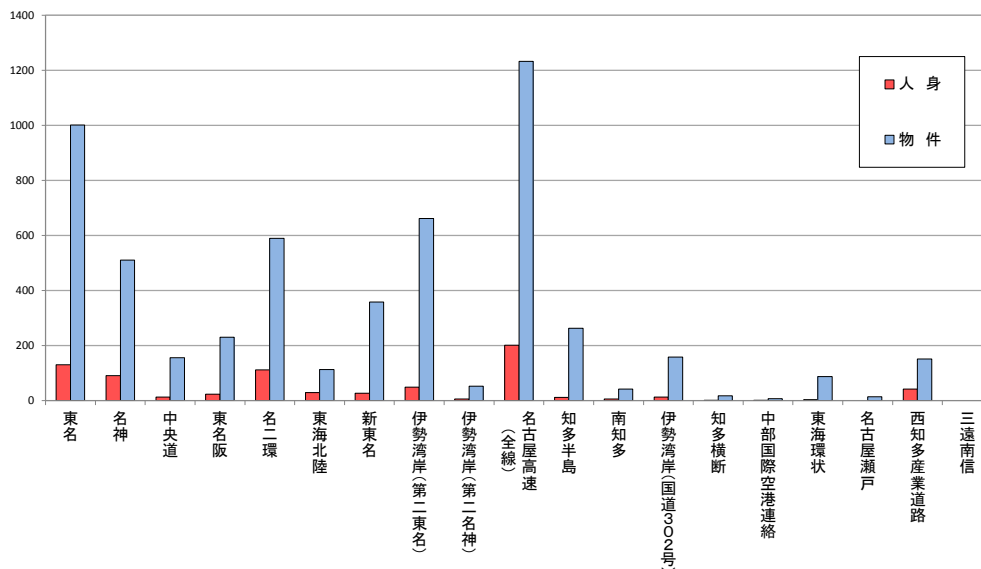


平成30年中の交通事故発生状況(高速隊調べ)

路線別

～路線別(人身・物件事故)～

人身・物件(件)



(件)

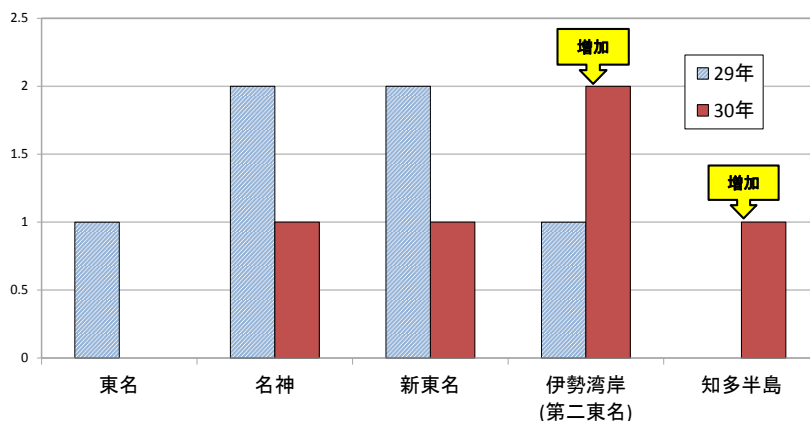
路線	高速道路(9)									自動車専用道路(10)									合計	
	東名	名神	中央道	東名阪	名二環	東海北陸	新東名	伊勢湾岸(第二東名)	伊勢湾岸(第二名神)	名古屋高速(全線)	知多半島	南知多	伊勢湾岸(国道302号)	知多横断	中部国際空港連絡	東海環状	名古屋瀬戸	西知多産業道路		三遠南信
人身	130	90	12	23	111	29	26	49	5	201	11	6	12	1	1	3	0	41	0	751
物件	1001	510	155	230	589	113	358	661	52	1233	263	41	158	17	7	87	13	151	0	5,639
計	1131	600	167	253	700	142	384	710	57	1434	274	47	170	18	8	90	13	192	0	6,390

★人身事故・物件事故ともに名古屋高速で多発！！

★物件事故は、東名高速と名古屋高速で1,000件を超えて発生している。

路線別

～路線別(死亡事故・昨年対比)～



死亡事故件数 (件)

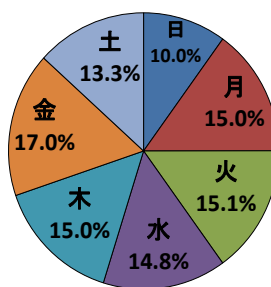
路線	東名	名神	新東名	伊勢湾岸(第二東名)	知多半島	計
29年	1	2	2	1	0	6
30年	0	1	1	2	1	5
昨年対比	-1	-1	-1	1	1	-1

★連続発生していた東名高速での発生は無し。

★自動車専用道路での発生は1件のみ(知多半島道路)。

曜日別

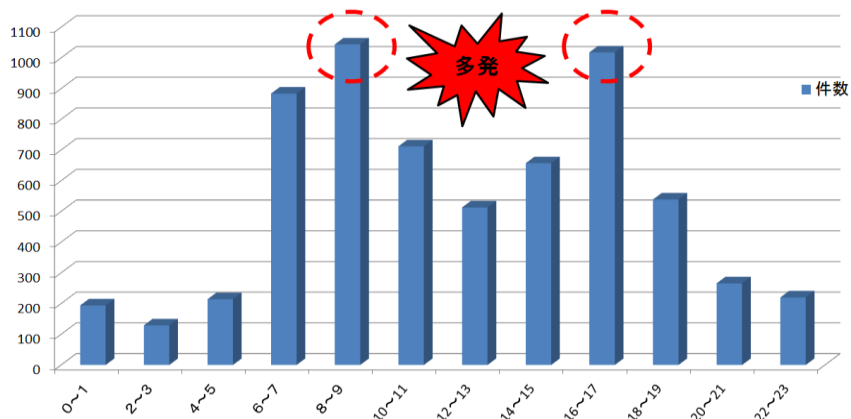
曜日別



曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計
件数	637	959	963	944	956	1084	847	6390
うち死亡	1	1	1	0	0	2	0	5

(件数は、人身事故、物件事故の合計件数)

時間帯別



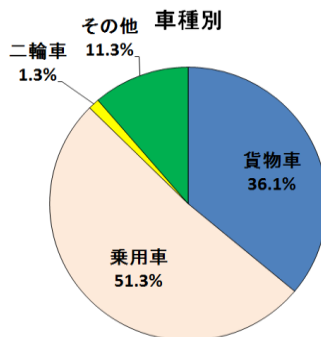
時間	0~1	2~3	4~5	6~7	8~9	10~11	12~13	14~15	16~17	18~19	20~21	22~23	合計
件数	194	129	214	884	1044	712	513	657	1018	539	266	220	6390
うち死亡	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	5

(件数は、人身事故、物件事故の合計件数)

★渋滞が発生しやすい、朝夕の時間帯に多発している。

★深夜時間帯は交通事故件数に占める死亡事故の割合が高い。

車種別



第一当事者の車種	貨物車					乗用車					二輪車	その他	合計
	大型	中型	準中型	普通	軽四	大型	中型	準中型	普通	軽四	自二		
件数	683	358	271	793	199	31	7	5	2,768	470	83	722	6,390
うち死亡	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5
死亡率	0.15%	0.28%	0.74%						0.04%				0.1%

(件数は、人身事故、物件事故の合計件数)

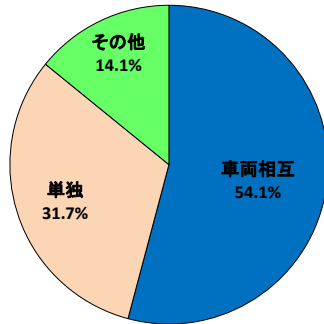
※「その他」は、第1当事者が歩行者の場合であったり、
当て逃げや飛び石などによる事故で第1当事者が不明の場合に計上。
※「死亡率」は、件数に占める死亡事故の割合。

★事故の第一当事者の5割以上が乗用車となっている。

★死亡事故全体の8割が貨物車となっている。

類型別

類型別

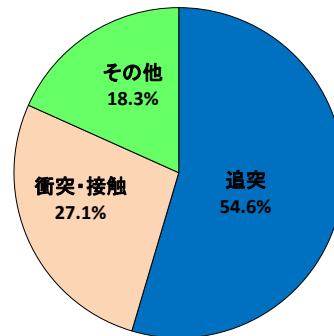


形態	車両相互	単独	その他	合計
件数	3,460	2,026	904	6,390
うち死亡	4	1	0	5

(件数は、人身事故、物件事故の合計件数)

※「その他」は、人対車、飛び石および積載物の転落などによる事故の場合に計上。

車両相互の内訳



衝突・接触
進路変更時の衝突、本線への流入流出時の衝突、走行車両への接触など

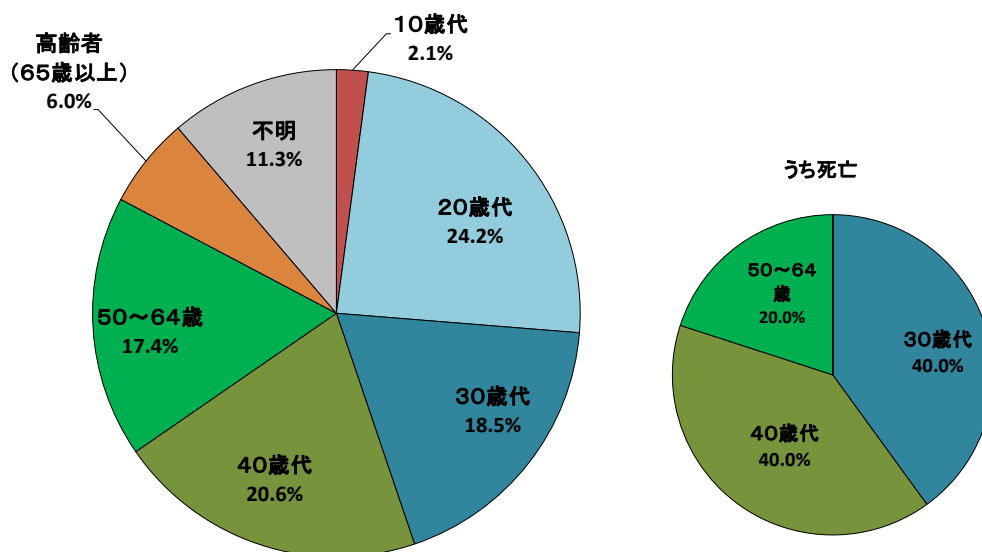
車両相互	追突	衝突・接触	その他	相互計
件数	1,889	938	633	3,460
うち死亡	4	0	0	4

(件数は、人身事故、物件事故の合計件数)

※「その他」は、パーキングエリアやサービスエリア内での事故、出入口やランプなど本線以外の事故の場合に計上。

- ★類型別では、車両相互が5割以上を占めている。
- ★車両相互の内訳は、半数以上が追突となっている。
- ★死亡事故5件中4件が追突事故。

年代別



第一当事者の年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50~64歳	高齢者 (65歳以上)	不明	合計
件数	134	1545	1184	1315	1109	384	719	6,390
うち死亡	0	0	2	2	1	0	0	5

(件数は、人身事故、物件事故の合計件数)

※「不明」は、当て逃げや飛び石などによる事故で第1当事者が不明の場合に計上。
「その他」は、いずれにもあてはまらない場合に計上。

- ★年代別では、20歳代の事故発生件数が最も多くなっている。
- ★死亡事故の第一当事者は、30歳代~40歳代で多発。